

公益財団法人横浜市体育協会と横浜F・マリノスが覚書を締結
横浜市スポーツ医科学センターが選手の医科学サポート等を実施します。



©Y.F.MARINOS

プロサッカーチーム「横浜F・マリノス」より、横浜市スポーツ医科学センター（センター長：青木治人、指定管理者：（公財）横浜市体育協会）へ医科学サポートの依頼がありましたので、昨シーズン同様にJリーグ2020シーズンにおいても実施します。

これに伴い、令和2年2月1日に当協会と横浜F・マリノスは覚書を交わし、横浜市スポーツ医科学センターが、選手の医科学的サポート等を行います。

当センターによる医科学サポートは、横浜F・マリノスが新横浜地区へ移転した2016シーズンから始まり5シーズン目となります。

2019シーズンで見事優勝を果たした横浜F・マリノスに対し、2020シーズンにおいても連覇の一助になれるようサポートしていきます。

■覚書有効期限

2020シーズン（2021年1月31日まで）とします。

■主な医科学サポート内容

- (1) メディカルトレーナー派遣
理学療法士の派遣、チームメディカルスタッフとの連携
※理学療法士の派遣料は有料
- (2) メディカルサポート
選手・スタッフのメディカルチェック、フィジカルチェック、診療、リハビリほか、全面的なメディカル支援、医科学センター内施設利用
※育成強化カテゴリーおよびアカデミー組織への支援含む
※メディカルサポート、施設利用は有料
- (3) チーム連携事業
サポート活動を通じた、ホームページ、メディア等への掲載や事業連携

お問い合わせ先

公益財団法人横浜市体育協会 横浜市スポーツ医科学センター 企画運営課長 小倉孝一

Tel 045(477)5050